

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2020/11/20		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200587050301	科目番号 / Course code	05870503
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15331_005		
授業科目名 / Course title	a23コミュニケーションの生物学・臨床医学 / Biology of Animal Communication and Clinical Medicine of Human Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	岡田 二郎 / Okada Jiro, 田中 悟郎 / Tanaka Gorou, 徳永 瑛子 / Tokunaga Akiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	岡田 二郎 / Okada Jiro		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	岡田 二郎 / Okada Jiro, 田中 悟郎 / Tanaka Gorou, 徳永 瑛子 / Tokunaga Akiko		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	jokada nagasaki-u.ac.jp (岡田) (メールを送信する際は を@に変更して送信してください) goro nagasaki-u.ac.jp (田中) (メールを送信する際は を@に変更して送信してください) akiko0923 nagasaki-u.ac.jp (徳永) (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	環境科学部本館227室 (岡田) 保健学科5階 (田中) 保健学科5階 (徳永)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2762 (岡田) 095-819-7995 (田中) 095-819-7996 (徳永)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月~金 12:10~12:40 (岡田) 月~金 12:10~12:40 (田中) 適宜 (徳永)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ほとんどの動物は、何らかの手段を用いて個体同士での情報のやり取りをおこなっているが、これ が現代の人間社会における複雑なコミュニケーションの礎となっている。ヒトを含めた動物では、 種特異的な動作、音声、化学物質などのシグナルが送り手から発せられ、それらが受け手の感覚器 で受信される。このシグナルは中枢に運ばれ、識別され、次に受け手が起こすべき応答のプログラ ムが生成され、最終的に返信シグナルが発現する。この一連のプロセスは、必然的に生物学的な意 義が存在していて、いずれも脳神経系の機能を基礎としている。また、シグナルの受信から、返信 シグナルの発現という一連のプロセスにおいて、その一部の機能が障害されると、そのコミュニケ ーションは大きく変容する。本講義では、動物とヒトのコミュニケーションについて、その進化、 多様性、生理機能、および障害に注目して学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	(岡田) 1) コミュニケーションの生物学的意義を理解し、その進化と多様性について説明できる。 2) 様々な動物におけるコミュニケーションの生理学側面について説明できる。 3) 自主的に学ぶ態度を身につける。 4) 与えられたグループ課題に対して、メンバー間で積極的かつ協調的に解決に取り組み、最善の 結論を得るための態度およびスキルを獲得する。  (田中・徳永) 1) 障害をもつ事例からヒトのコミュニケーションの多様な側面を学ぶ。 2) メンバー間で積極的かつ協調的に課題解決に取り組み、最善の結論を得るための態度およびス キルを獲得する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	予習課題（30%）、講義中のグループ課題（30%）と最終試験（40%）による。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習課題、講義前に配布される資料の確認、不明な用語や概念の調べ等で、毎回2時間の事前学習が必要。 講義内容、講義中に課される課題の振り返り等で、毎回2時間の事後学習が必要。
キーワード/Keywords	（岡田）行動、進化、多様性、脳神経系 （田中・徳永）精神障害、発達障害、コミュニケーション
教科書・教材・参考書/Materials	LACSに掲載する資料、配布資料等を用いる。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	特になし
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	特になし
学生へのメッセージ/Message for students	高校生物や一般書等から、動物の行動と生態、脳・神経系に関する予備知識があると良い。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	田中 悟郎/精神科病院及び施設で作業療法士としての勤務経験/病院や施設での勤務経験を有する教員が、精神障害者への作業療法について解説する。/ 徳永 瑛子/地域の障害福祉センターでの勤務経験/実際に現場で出会う子どもたちの特性、反応の仕方、対処法を伝達している/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回（10月2日・3校時）	オリエンテーション：生物のコミュニケーションとは（岡田）
第2回（10月2日・4校時）	動物コミュニケーションとその進化1（岡田）
第3回（10月9日・3校時）	動物コミュニケーションとその進化2（岡田）
第4回（10月9日・4校時）	動物コミュニケーションの生理学的基礎（岡田）
第5回（10月16日・3校時）	昆虫の化学コミュニケーション（岡田）
第6回（10月16日・4校時）	コオロギの音声コミュニケーション（岡田）
第7回（10月23日・3校時）	小鳥の音声コミュニケーション（岡田）
第8回（10月23日・4校時）	オリエンテーション：精神障害とコミュニケーション（田中）
第9回（10月30日・3校時）	うつ病とコミュニケーション（田中）
第10回（10月30日・4校時）	コミュニケーションスキルトレーニング1（田中）
第11回（11月6日・3校時）	コミュニケーションスキルトレーニング2（田中）
第12回（11月6日・4校時）	コミュニケーションスキルトレーニング3（田中）
第13回（11月13日・3校時）	発達障害とコミュニケーション1（徳永）
第14回（11月13日・4校時）	発達障害とコミュニケーション2（徳永）
第15回（11月20日・3校時）	講義の総括・最終試験（岡田）
第16回（11月20日・4校時）	講義の総括・最終試験（田中・徳永）

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2020/11/19		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200587050501	科目番号 / Course code	05870505
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15341_005		
授業科目名 / Course title	a23音表現とグループ・プロセス / Music and Group Process		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西田 治 / Nishida Osamu, 小原 達朗 / Obara Taturou		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	西田 治 / Nishida Osamu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	西田 治 / Nishida Osamu, 小原 達朗 / Obara Taturou		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	osamu-n nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部本館 5 1 6		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	昼休み (事前にメールにてアポイントを取る)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	音楽やスポーツ (身体活動) は、そのパフォーマンスをパフォーマー自身が演じる中で自己完結するものである。しかし、他者とのかわりにおいて見聞きする対象になり、相互の感性や意志のやり取りが生まれコミュニケーションが成り立つ。 本授業では、音を媒介としたコミュニケーションや身体を媒介としたコミュニケーションの実際について実現象や実践を通して体験し、実生活の中で活用できるようになることをねらいとしている。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の精神的及び身体性の特性を理解し、自己を表現する際に生かすことができる。</li> <li>・言語的表現を非言語的な表現にイメージし、具体的に行動化できる。</li> <li>・芸術やスポーツに内在するコミュニケーションの多様な形について理解し、説明できる。</li> <li>・音や身体を使って思いや意志を相手に伝えることができ、生活場面へ汎化させることができる。</li> </ul>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポートなどの提出物 70% 講義時のワークシート 30%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Keywords	コミュニケーション 音楽 身体 スポーツ		
教科書・教材・参考書/Materials	参考文献 『音楽療法士のしごと』 / 生野 里花 (著) / 単行本: 255ページ / 出版社: 春秋社 (1998/01) 『音楽文化のすすめ いま、ここにある音楽を理解するために』 / 小西 潤子 (編集), 志村 哲 (編集), 仲 万美子 (編集) / 単行本: 264ページ / 出版社: ナカニシヤ出版 (2007/03) 『スポーツコミュニケーション』 / 東海林祐子 (著) / 単行本: 187ページ / 出版社: ブックハウス・エイチディ (2011/06) 『身ぶりとしぐさの人類学』 (中公新書) / 野村雅一 (著) / 単行本: 225ページ / 中央公論社 (2002/05)		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	音楽やスポーツの得手・不得手は全く問わない。苦手な方の参加を歓迎する。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	1 心はどこにある?...ひとのからだの表現性
第2回	2 真似る細胞（ミラーニューロン）...ひとの脳の表現性
第3回	3 しぐさに込められた謎
第4回	4 サインに込められた意図
第5回	5 スポーツ中のコミュニケーション（その1）
第6回	6 スポーツ中のコミュニケーション（その2）
第7回	7 サインプレーの実践
第8回	8 授業の意図と概要
第9回	音あそび（アイスブレイク）
第10回	カードを用いたグループ作曲
第11回	音の風景
第12回	音の風景と音楽
第13回	共に奏でることについて
第14回	踊ることと音楽について
第15回	振り返りと講義の総括
第16回	受講生による振り返りの発表

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2020/11/25 ~ 2021/01/28		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200587067901	科目番号 / Course code	05870679
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 16451_005		
授業科目名 / Course title	a23人間関係の心理学 / Educational and School Psychology ('20)		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	當山 明華 / Toyama Sayaka		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	當山 明華 / Toyama Sayaka		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	當山 明華 / Toyama Sayaka		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	s-toyama nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	大学教育イノベーションセンター		
担当教員TEL/Tel	2115		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにて予約		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>本科目は「グループ・コミュニケーション」のモジュール科目として、大学や社会でのコミュニケーションに必要とされる基礎能力の育成を目指します。</p> <p>他者や社会を理解する科目ですが、これらを理解するためにはまず自分を知ることが大切です。そのために、最初に自己の感情や思考についての理解を深め、その後他者や社会について理解を深めていきます。</p> <p>この科目では、最初に理論を学び、その後理論を用いたワーク、グループ。ディスカッション等を行います。自己と他者の基礎的知識を理解し実践によって定着することで、皆さんの社会生活が豊かになることを目指します。</p>		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1)自己および他者についての基礎的な知識を得ることができる</li> <li>(2)自分の気持ちや考えを整理することができる</li> <li>(3)自分の気持ちや考えを他者に表現することができる</li> <li>(4)自分の考えと異なる他者の考えを理解できる</li> <li>(5)思わぬ事態が起こった際に客観的に考えようとする事ができる</li> <li>(6)社会や環境への意識を高めることができる</li> </ol>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<ol style="list-style-type: none"> <li>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br/&gt; Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</li> <li>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br/&gt; Activities involving others to think from various perspectives</li> <li>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br/&gt; Activities to practice for acquiring skills</li> <li>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br/&gt; Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</li> <li>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br/&gt; Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</li> <li>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br/&gt; It consists only of lectures from teachers</li> </ol>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	成績評価は、課題(60%)およびリフレクションペーパー(40%)の評価で行います。課題の評価は提示するルーブリックを用いて行います。リフレクションペーパーは出席も兼ねています。また、下記の条件を全て満たした方のみを評価対象とします。 ・出席は8回以上 ・最終課題以外の課題提出は5回以上 ・最終課題の提出 (課題については、期限外の提出は認めません)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	各回とも、テーマに沿ったワークを行っています。学修を深めるために復習を行い(1h)、それを元にしたレポートの提出を求めます(3h)。		
キーワード / Keywords	論理的思考, 批判的思考, ディスカッション		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書は指定しません。参考資料等は授業のなかで随時配布・提示します。		

受講要件 (履修条件) /Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	全回出席が可能なこと。集中して授業や課題に取り組むこと。自分の言動に責任を持てることを求めます。 教員からの指示がない限り、授業中のPCおよびスマートフォンの使用は不可とします。
学生へのメッセージ/Message for students	この科目では、理論の理解を元に自己および他者との関わりを実践的に行います。そのため、授業外での学修や課題、調査の比重が大きいです。受講を希望する人はその点に留意して参加して下さい。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 , 2 回	オリエンテーション, 自分自身を知る
第 3 , 4 回	自己とは何か
第 5 , 6 回	自己と他者 ( 1 ) ステレオタイプ, 対人認知
第 7 , 8 回	自己と他者 ( 2 )
第 9 , 1 0 回	自己と社会 ( 1 ) 集団内での人間関係
第 1 1 , 1 2 回	自己と社会 ( 2 )
第 1 3 , 1 4 回	自己と環境
第 1 5 回	まとめと振り返り